

北海道・三陸沖後発地震注意情報について

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」とは、規模の大きな地震に続いて発生する巨大地震への注意を促す情報です。

十勝沖から根室沖の千島海溝沿いや三陸沖から日高沖の日本海溝沿いでは、平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）のように内陸の平野部まで津波が押し寄せるような巨大地震が300～400年ごとに繰り返し発生していることが分かっています。

この場所で最後に発生した巨大地震は17世紀頃で、既に300～400年が経過しているため次の巨大地震がいつ発生してもおかしくない状態です。

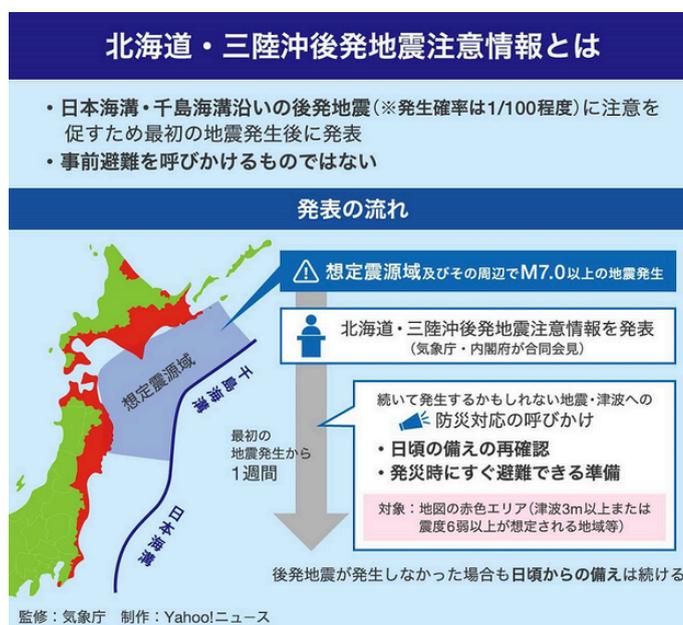
こうした巨大地震の多くは突然発生しますが、まれに巨大地震に先立って「ひとまわり小さな地震（マグニチュード7程度以上）」が発生することがあります。

そこで、少しでも巨大地震による被害を少なくするために、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖の巨大地震想定震源域やその周辺でマグニチュード7.0以上の地震が発生し、巨大地震の発生する可能性が平常時より高まっていることを、内閣府・気象庁合同記者会見により「北海道・三陸沖後発地震注意情報」として発表する場合があります。

地震や津波は、備えることで被害を減らすことができます。「後発地震」が必ず発生するとは限りませんが、この情報を見聞きしたら、特に最初の1週間は地震への備えの再確認と、いざ、巨大地震の発生時にすぐに津波から避難できる準備をお願いします。

ただし、地震は突発的に発生することの方が多いので、日頃から家具等の固定や避難場所・避難経路の確認等を行い、地震に備えておきましょう。

問い合わせ先 網走地方気象台
（電話：0152-43-4349）



網走地方気象台ホームページ



札幌管区気象台ホームページ
「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の
解説ページ



内閣府ホームページ
「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の
解説ページ